



アミール・ツアルファティ

[2024年1月8日 ニュース速報]

<https://youtu.be/ZJPqDjHKCpk>



アミール・ツアルファティです。ガリラヤの自宅からライブです。ごめんなさい、戦闘機の飛行音が聞こえるかも知れませんが、その理由については後ほど説明します。さて、皆さんがつながるのを待ちましょう。ニュース速報、非常に重要な内容です。中には良くないニュースもありますが、しかしそれでも、私たちは、それらについて話さなければなりません。

では、皆さんがどこで見ているのか、どこから接続しているのか、見てみましょう。コメント欄に在住都市および州

の名前を書いてください。では見てみましょう。ええと…接続に時間がかかっています。はい。よし。インディアナ州から、ミネソタ州から、ミズーリ州、カンザスシティ、サウスカロライナ州、ケンタッキー州からも。他には？カリフォルニアから、ワシントンからもいます。オッケー。

よし。皆さん…こっちで待ちましょう。さて、どこから始めましょうか…今日、というか週末にかけて、いくつかのことが大きくエスカレートしました。思っているのでしょうか、前回、私がライブを行ったとき、イスラエルが、レバノンのベイルートの最も安全な地域内で、ハマスの最高司令官を排除したとお伝えしました。ヒズボラが管理し、安全を確保している地域です。週末の間に、ヒズボラは非常に激しく報復し、60発以上のミサイル、または対戦車ミサイルを、北部にあるイスラエルの戦略施設に直接発射しました。感謝なことに、死者は出ていません。しかし、多少の被害がありました。今日、イスラエルはヒズボラの精鋭部隊の司令官を排除することに成功しました。ラドワン軍と呼ばれるものです。これは、ヒズボラの指揮官部隊で、イスラエルに潜入し、そしてハマスがガザ周辺でやったのと同じことを、ガリラヤ北部で行うように訓練されていました。イスラエルは、爆発物を彼の車の中で爆発させ、彼は死亡しました。また同時に、数時間後、イスラエルは、シリアのハマスの最高司令官を殺害しました。

ということで、主要人物2名が排除されました。しかし、残念なことに、また…イスラエルは、作戦を続けています。特にカーン・ユニス市の地域では、ハマスの指導者たちが、現在、地下に潜んでいると、私たちは信じています。我々は、地下に最大規模の兵器製造施設を発見しました。これは、地下約100フィート(30m)以上の場所で、ロケットが製造されていた場所です。ですから、私たちは巨大な場所を発見し、そしてそれは、いつものように人道援助の建物の下にありました。今日、非常に悪い出来事がいくつか起こりましたが、まだ公開が許可されていないため、それについて話すことはできません。しかし、今日は、戦争が始まって以来最も厳しい夜の一つで、非常に悲惨で悲劇的な出来事があり、多くの兵士が巻き込まれました。もちろん、公開許可が出るまでは、それについて話せませんが。

しかし、テレグラムで私をフォローしてください。私が思うに、私たちが今抱えている最大の問題は、今日、バイデン大統領からの明確なメッセージを携えた、アントニー・ブリンケンのイスラエル訪問です。信じられないかもしれませんが、アメリカの友は、私たちがガザでの戦闘をやめるよう望んでいます。アメリ

カ人も人質になっていて、アメリカ人も殺されました。ハマスの手中には、130人以上のイスラエル人人質がいて、そして我々は、まだハマスの指導者を捕らえていません。したがって、本当に終わったとは言えません。イスラエルは、確固たる…ジェスチャーを用いて、我々は今、戦争の第3段階に移行していると告げています。しかし現実には、カーン・ユニスがあるガザ地区の中心部には、地上には7つの旅団があり、地下には我々の全精鋭部隊がいます。だから戦争は…どちらかといえば、終わりにはほど遠く、ガザでの戦争は、数ヶ月続くでしょう。そして問題は、我々はヒズボラと戦う以外に選択肢はないと信じていて、そしてそれは、ハマスの戦いよりも、さらに困難になるでしょう。

つまり、基本的に私が言いたかったのは、今日、非常に重要なテロリストが排除されました。1人はラドワン軍のリーダーまたは指揮官です。繰り返しますが、ラドワン部隊はヒズボラのエリート部隊で、これは、彼らの歩兵隊の指揮官の兵士達です。噂によると、私たちが排除したこの男は…それから、テレグラムのいたるところに、彼の名前と写真が掲載されています。彼がカセム・ソレイマニと一緒に写っている写真もあって、噂によると、この男は、ヒズボラ指導者ハッサン・ナスララの義理の兄弟だと言われ、つまり、彼の妻の兄弟です。

ですから、非常に辛いのは…イスラエルは現在、主要な兵器システムを北部国境に移動させていて、私たちは、基本的に、その戦争の準備をすぐに始めます。私に言えるのは、ここ私の家族の中でも、誰とは言いませんが、この家の私の家族の一人も、北に召集されていて、近い将来に起こることに参加します。ですから、繰り返しますが、まだ公表が許可されていないこの悲劇的な出来事については言いませんが、しかし、今日は、重要な二人の人物が殺害されたことをお伝えします。一人はレバノンのラドワン軍の司令官、もう一人はシリアのハマスの司令官です。ほら、ハマスは、あちこちに広がっています。なぜなら、彼らはガザからだけでなく、全周囲で活動できることを見せたいのです。イスラエルは、ヨルダン川西岸、ガザ地区で、ハマスの戦闘を続けています。しかし、私たちはシリアやイラク、そしてもちろん、紅海の一部でも戦争を戦っていて、ユダヤ、サマリア、ガザ、レバノンでも、かなりの数の前線で同時に戦っています。

皆さんのお祈りを、2つの大きなことに役立てることができます。一つは、当然のことながら、私たちは、かなりの数の兵士を失った状況にあります。ですから、私たちは家族と国家のために、たくさん祈らなければなりません。しかし同時に、我々は米国との直接対決への道を歩んでいます。選挙の年に、バイデン大統領は極左を怒らせたくなくて、また彼は、ミンガン州のイスラム教徒の票が欲しいですし、彼は、潜在的な有権者の集団を失うわけにはいかないのです。ですから私たちは今、来るアメリカの選挙のプレッシャーを、ここで感じています。

皆さん、私が知っていることから私に言えるのは、といっても、FacebookやYouTubeで禁止されたくないのに、必要以上に言いませんが、ただ、私に言えるのは、アメリカの多くの軍関係者は、中国が計画していることを知っているため、夜も眠れません。詳細には触れませんが、私が知っていることは…言い方を変えましょう。中国がアメリカに対してできることは、ハマスがイスラエルに対してできることよりも、はるかに悪いです。したがって、これらは非常に非常に厄介な問題です。そして問題は、バイデン大統領が今年の選挙期間を通じて、消極的な態度を貫こうとしていることで、それはまさに、イスラエルとアメリカの敵全員が望んでいることです。彼らは、彼が武力を誇示するだけで、それを行使しないことを望んでいます。ちなみに、かなりの数のアメリカ兵が被害に遭いました。彼らの中には、シリアの米軍基地で殺害された人もいます。10月中旬以降、親イラン民兵による米軍基地攻撃事件は、すでに150件以上発生していて、そして、アメリカ側からの報復はほとんどありません。バイデンは海軍と空軍、その他多くのものを持ち込みましたが、それにもかかわらず、アメリカは何らかの奇妙な理由で、それらを使用していません。

ですから、たくさんの方が起こるでしょう。2024年、私たちは本当に祈り続けなければなりません。それが私に言えることです。ですから、私たちがこの困難な時期を乗り越えるにあたり、イスラエルのためにお祈りください。しかしまた、非常に近い将来、ガザとレバノン国境を取り囲んで、イスラエルとアメリカの間に直接対決が起こるでしょう。イスラエルは、自国で自国民を難民にするわけにはいきません。ご存知のとおり、北イスラエルには民間人がいません。ガザ周辺はすべて空っぽです。つまり、約20万人のイスラエル人が、ホテルやその他の場所に閉じ込められているのです。彼らが家に帰れないために。これを続けるわけにはいきません。私たちは、何かをしなければなりません。私たちは安全を取り戻さなければなりません。

ですから、これが今の状況です。繰り返しますが、レバノンとシリアにおける、非常に重要な排除、そしてガザでの非常に厳しい出来事がありました。

さて、多くの方が、テレグラムで私を見つけられないと苦情を言っています。その理由は、彼らが間違っただチャンネルをフォローしたからです。彼らは、14,000人のフォロワーを持つ詐欺師のチャンネルをフォローしていました。478,000人のフォロワーがいる、私のチャンネルをフォローする代わりに。それで、彼が何も投稿していないときや、または一部の人をブロックしているとき、彼らは、私がしたと思っているのです。彼はまた、人々にお金を要求しています。そして、彼に何も与えなければ、彼はあなたをブロックして、そしてあなたは、私がそれをしたと思っています。ですから、皆さん、お願いします。私のテレグラムチャンネルには、478,000人のフォロワーがいます。私の名前が含まれている他のチャンネルは、私のものではありません。フォローを解除し、場合によっては通報して、正しいものをフォローしてください。良いですね？

はい。ありがとうございます。神の祝福がありますように。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>



日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳2017より引用しています。

聖書 新改訳2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.